

共振する想像力 エアロゾル・ライティング文化論

「グラフィティからエアロゾル・ライティングへ — 呼称問題と歴史の再解釈 — 」

1960年代末にニューヨークで生まれ、様々なアートとクロスしながら世界に広がったエアロゾル・ライティング文化。これまで日本で触れる機会の少ない、グラフィティとも呼ばれる同文化の第一人者 大山エンリコイサム氏を講師に迎え、その文化の魅力に迫ります。



Enrico Isamu Oyama, Artwork for COMME des GARÇONS 2012 SS collection, White Drama, 2011
Artwork © Enrico Isamu Oyama
Photo © Shinpei Yamamori



Enrico Isamu Oyama, Choja Machi Mural Project, 2010
Artwork © Enrico Isamu Oyama
Photo © Takahiro Tsushima



Enrico Isamu Oyama in his Brooklyn studio / 2018 Photo © Collin Hughes

大山エンリコイサム プロフィール

アーティスト。エアロゾル・ライティングのヴィジュアルを再解釈したモチーフ「クイックターン・ストラクチャー」をベースに壁画やペインティングを発表し、現代美術の領域で注目を集める。

1983年、イタリア人の父と日本人の母のもと東京に生まれ、同地で育つ。2012年よりニューヨークを拠点に世界各地で展覧を行なうほか、著書『アゲインスト・リテラシー—グラフィティ文化論』の刊行、雑誌『美術手帖』エアロゾル・ライティング特集の企画・監修、コム デギャルソンやシュウウエムラとコラボレーションするなど、多角的に活動する。2017年に展覧「ユビキタス —大山エンリコイサム」がマリアンナ・キストラー・ビーチ美術館（米カンザス）で開催。

大山エンリコイサム <http://www.enricoisamuoyama.net>

2019年 6月1日（土）
午後1時30分～午後3時30分
（受付・午後1時～）

講師：大山エンリコイサム（アーティスト・ニューヨーク在住）
会場：小牧市公民館4階 視聴覚室
定員：60名 ※申込先着順〈対象〉中学生以上
料金：300円
受付開始 5月4日（土・祝）～

申込方法

参加者の氏名・年齢・住所・電話番号を、電話・FAX・メールのいずれかの方法で、（一財）こまき市民文化財団まで。
（一財）こまき市民文化財団 事業グループ
電話（0568）71-9700 FAX（0568）77-8207
Eメール koza@komaki-bunka.or.jp

《主催》小牧市・（一財）こまき市民文化財団



こまき市民文化財団



※小牧駅より徒歩約10分
※駐車台数に限りがありますので、極力乗り合わせが、公共交通機関でお越しください。